



**MEDIA LINKS**<sup>®</sup>  
Media Defined Networking<sup>®</sup>

2020年3月期  
決算説明会  
株式会社メディアリンクス

2020年4月30日

# 1. 2020年3月期 決算報告

(2019年4月～2020年3月)

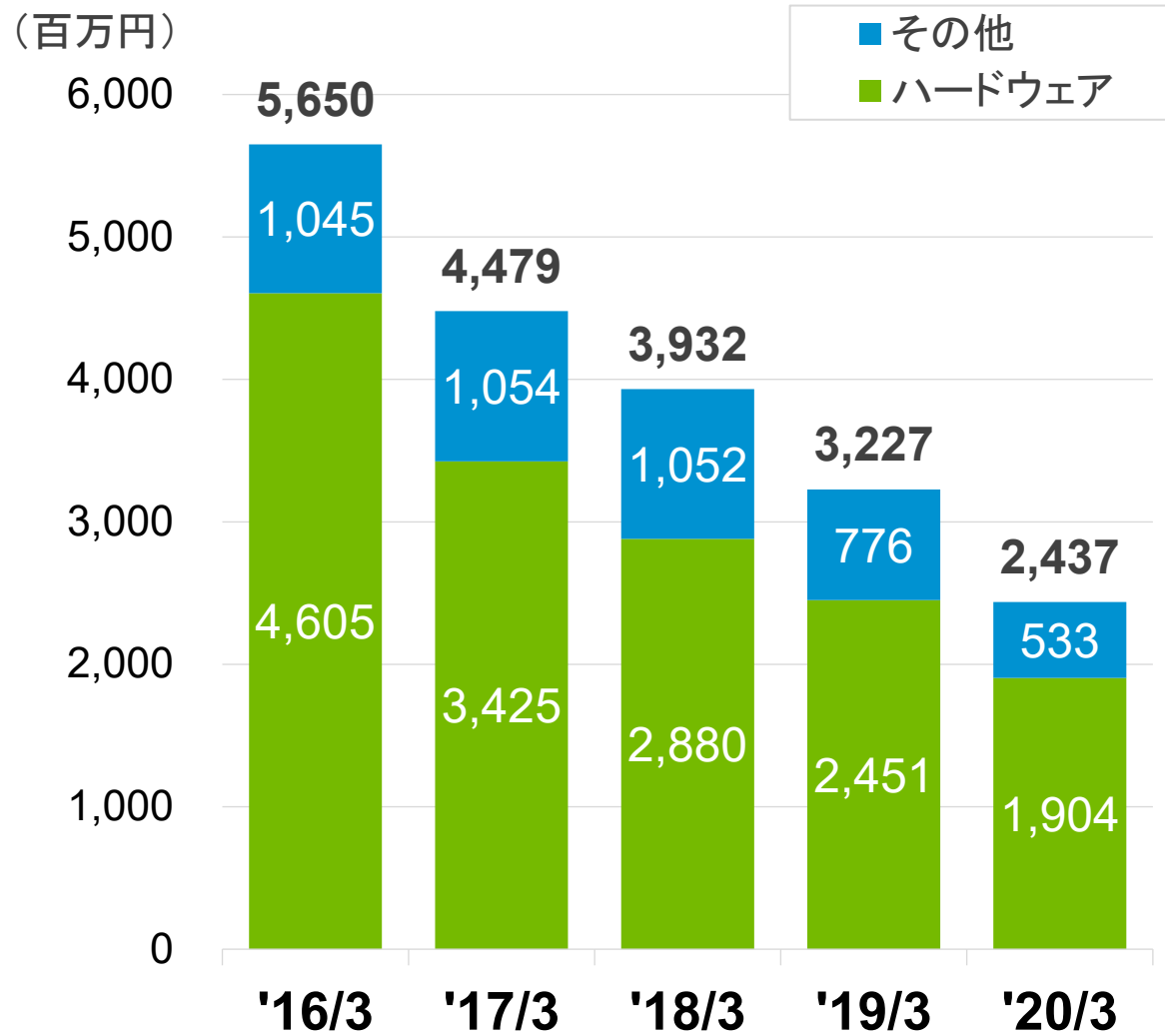
(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前年比
売上高	3,227	2,437	-789	-24.5%
売上総利益	1,876	1,385	-491	-26.2%
販管費	1,802	1,921	119	6.6%
営業利益	74	-536	-610	—
経常利益	57	-553	-609	—
当期純利益※	38	-590	-628	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

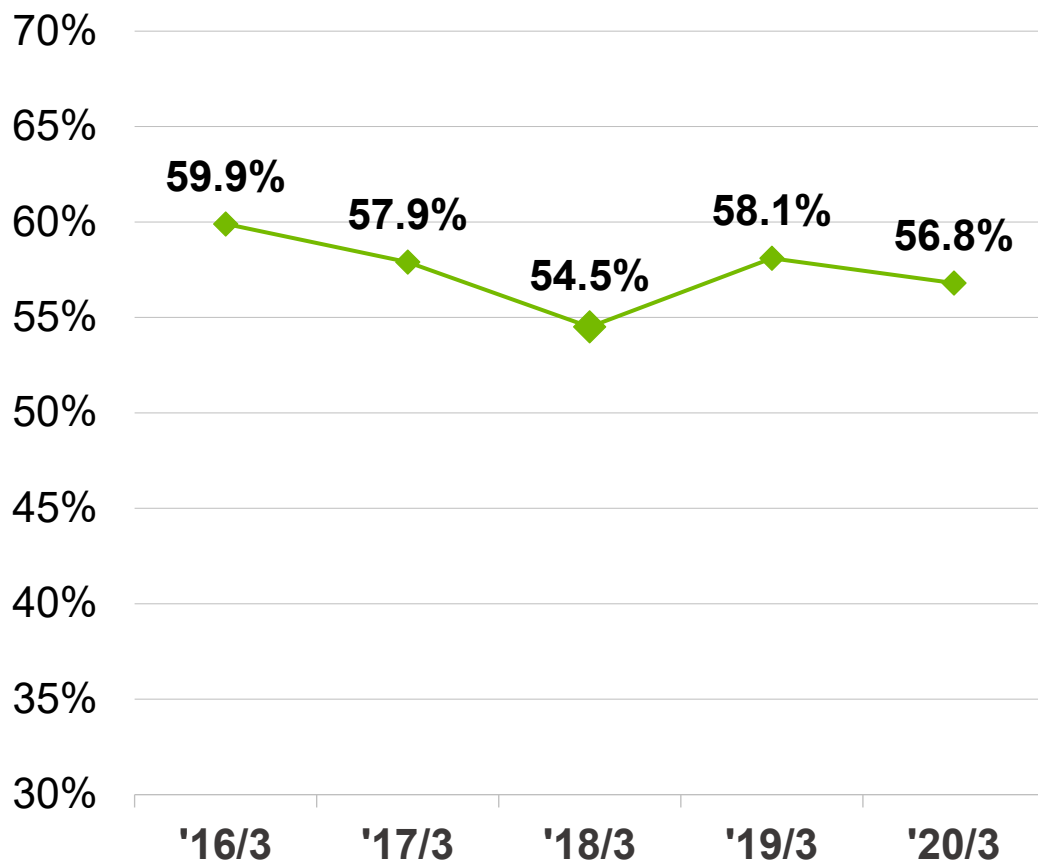
- 売上高前年比24.5%の減少。アジア市場、オーストラリア市場、EMEA市場の減収が要因。
- 販管費は前年比6.6%の増加。新規顧客開拓に向けて営業体制を強化した。
- 以上の結果、営業利益は-536百万円、経常利益は-553百万円、当期純利益は-590百万円となった。

## 連結業績ハイライト



- 売上高前年比 24.5%減少
- ハードウェア売上比率 78.1%  
前年75.9%、2.2ポイント増加
- 海外売上比率 55.4%(前年54.7%)  
海外売上比率は前年と同程度

## 連結売上高



- 売上総利益率56.8%（前年比1.3ポイント減少）
- 当年には前年のような利益率の高いプロジェクトの売上がなかったため、前年比で売上総利益率が減少
- 主力製品MD8000シリーズの価格競争力は引き続き維持

## 売上総利益率

## アジア市場: 減収

- 日本市場は、東京オリンピック向け及び放送局向けのIPVRシステムについて予定通り売上を計上したものの、顧客の設備更新需要が一巡したことにより減収。
- 中国市場で初めて当社製品が採用され、売上を計上。

## 北米市場: 横ばい

- 主要顧客のM&A に起因する購買低迷は脱したため、売上は前年比増加。
- しかしながら、そのM&Aの統合効果を得るための新規設備投資が実施されると見込んでいたが、実施されなかった。
- 一部の顧客の売上を見込んでいたものの、設備投資計画を見直しているため、当年の売上にならなかった。

## 地域別売上: アジア・北米市場

## オーストラリア市場: 減収

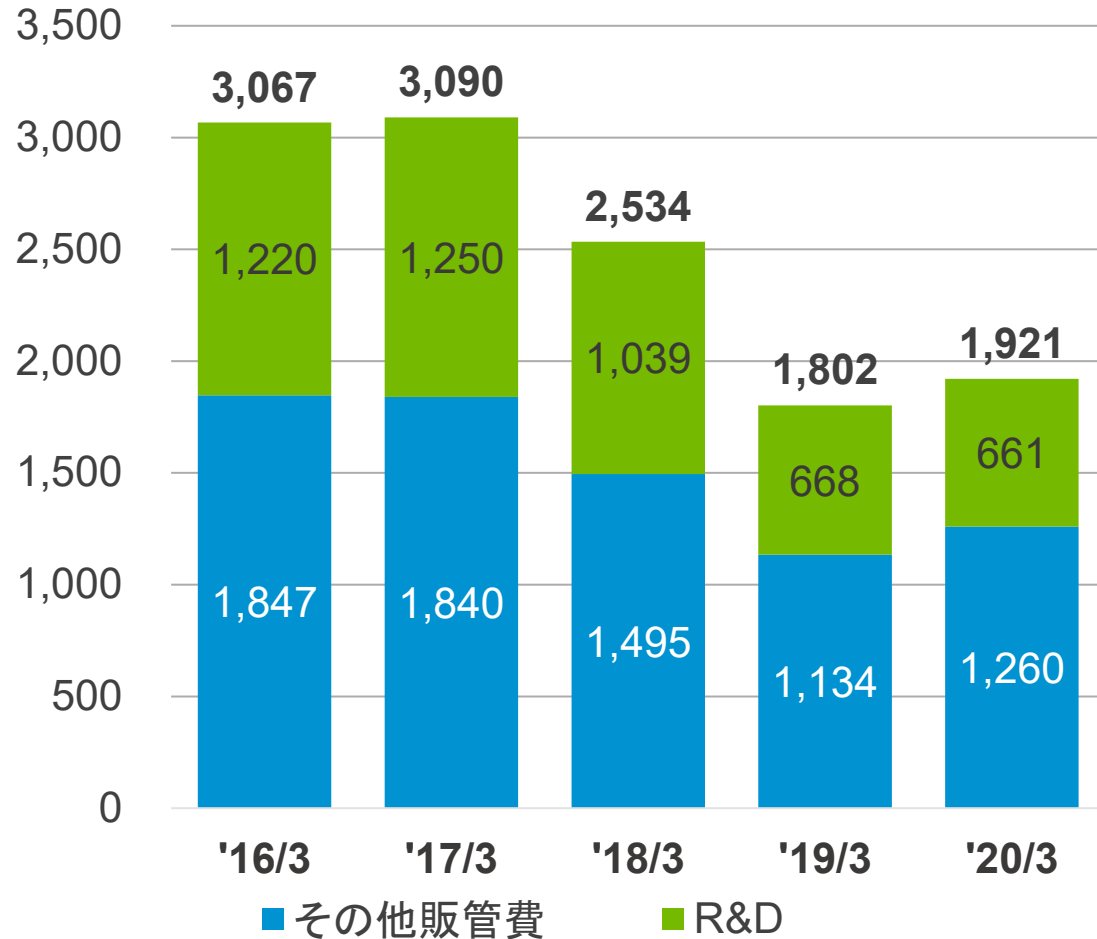
- 主要顧客の既存ネットワークへの新規設備投資が前年と比べ減少。
- また、メンテナンスサポート契約の単価見直しにより減収。

## EMEA市場: 減収

- ロシアワールドカップのような大きなスポーツイベント向けの受注がなかった。
- ロシアワールドカップでの実績を元に新規顧客と取引を開始し、売上につながった。その他にいくつかのキーププロジェクトはあったものの、それらは当年の売上にはつながらなかった。

## 地域別売上: オーストラリア・EMEA市場

(百万円)

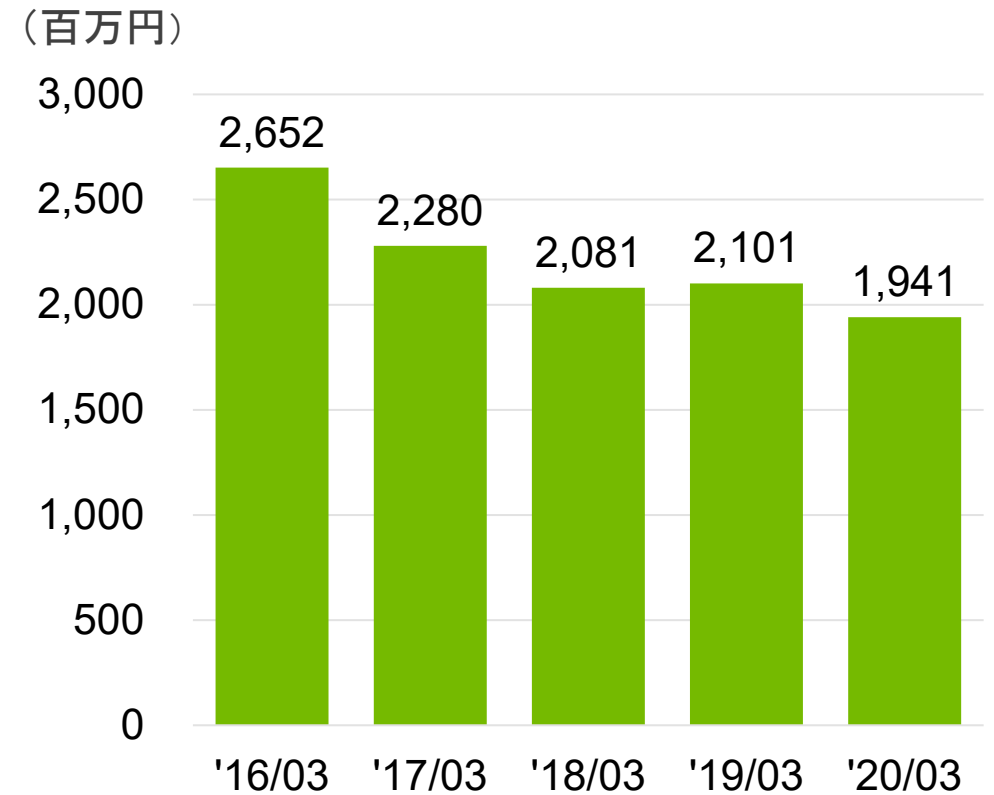
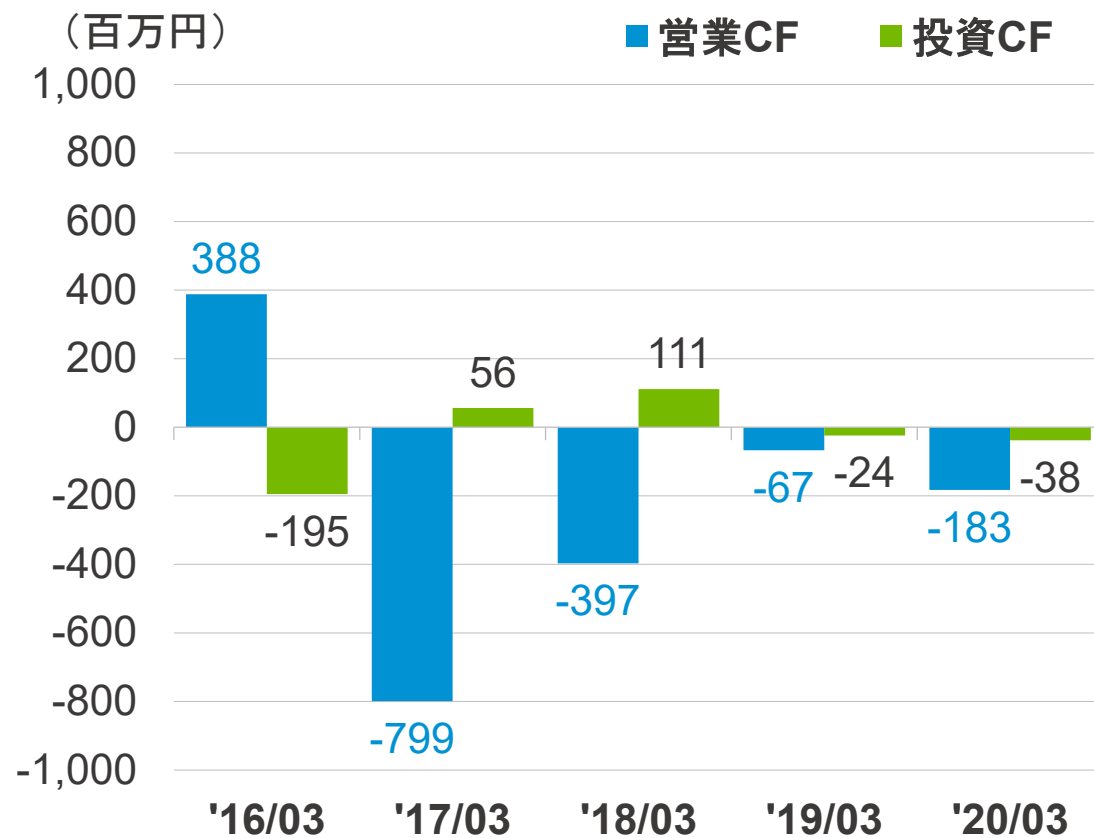


## 販売費及び一般管理費

- 販売費及び一般管理費は前年比6.6%増加
  - ✓ 北米の営業体制強化のための採用を実施
- 研究開発費は前年比1.0%減少  
売上高研究開発費比率27.1%  
(前年20.7%、6.4ポイント増加)
  - ✓ 売上の減少により売上高研究開発費比率は前年よりも増加したが、将来の利益確保のため、研究開発費は前年と同程度を維持
- 継続的に経費は抑制しつつも、必要な投資は実施
- 3月末人員数(連結) 85名 (前年比2名減少)

18/3	19/3	20/3
95名	87名	85名

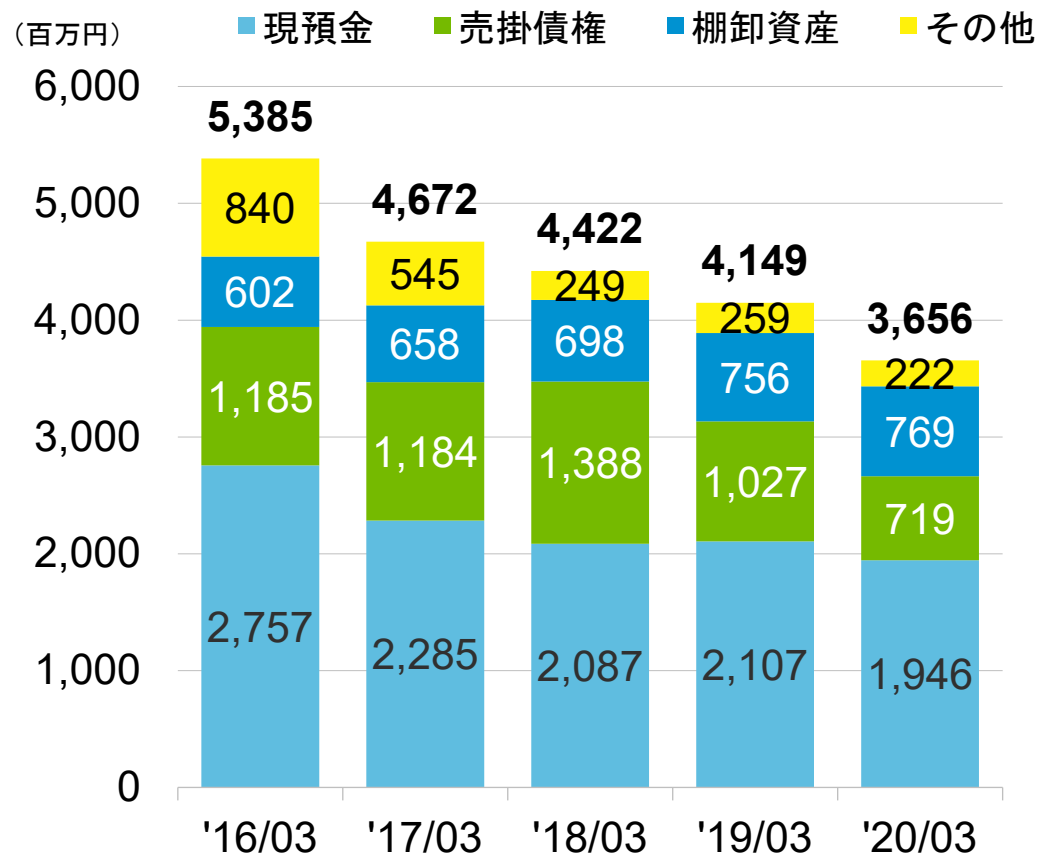




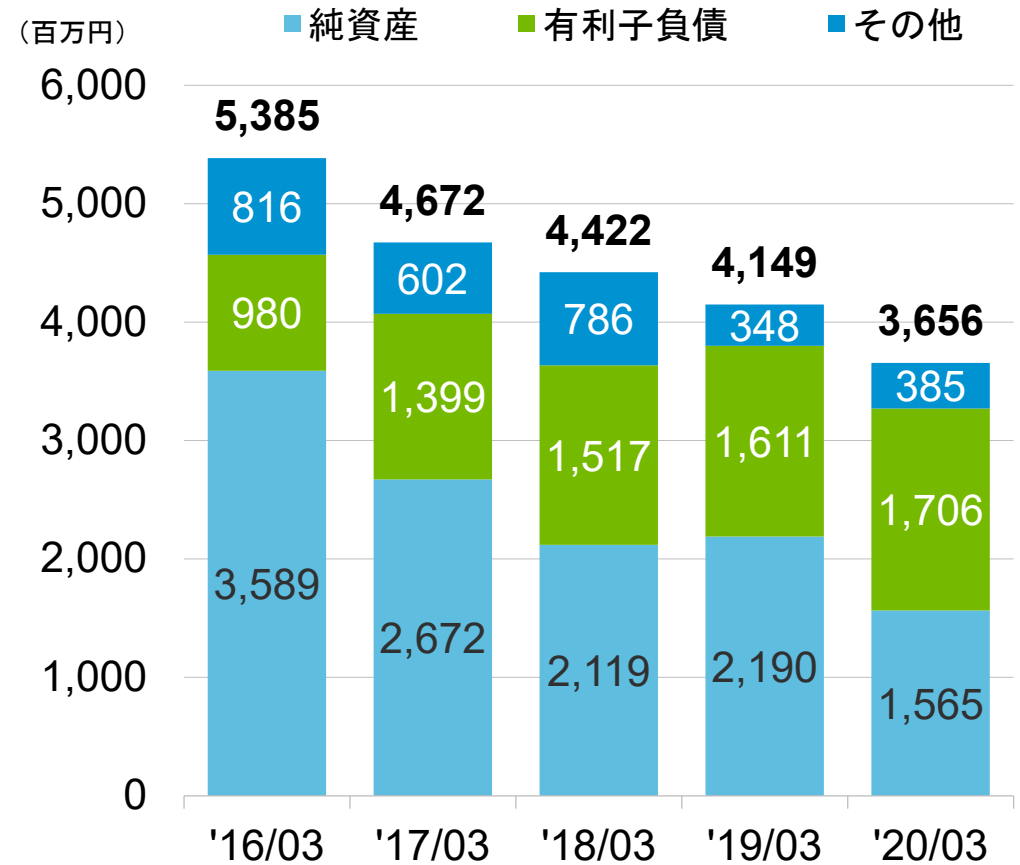
安定的な事業運営のための資金は確保

## キャッシュ・フロー

## 現金及び同等物残高



資産



負債及び純資産

# 貸借対照表

## 2. 2021年3月期 通期業績予想

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減	前年比
売上高	2,437	3,900	1,463	+60.0%
営業利益	-536	100	636	—
経常利益	-553	90	643	—
当期純利益※	-590	70	660	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

- ・連結業績予想については、年次での業績管理を行っているため通期予想のみ開示
- ・想定為替レートは、1米ドル105円、1オーストラリアドル70円

## 2021年3月期通期 連結業績予想

## アジア市場

- 日本市場は放送局及びケーブルテレビ局の設備更新需要の谷間であるため、減収を見込むものの、日本以外のアジア各国へ当社製品を販売することで、アジア市場全体では増収を見込む。
- 韓国市場では、放送局の定期的な設備更新に加え、4K放送拡大需要について、当社製品を提案し売上に繋げる。
- 中国市場は販売代理店と協力し、中国国内の大型スポーツイベント及び放送局に対して当社製品を提案しており、その売上を見込む。
- その他アジア市場においては、台湾及びタイの販売代理店と販売特約契約を締結。各国への売上を見込む。

## 地域別販売計画：アジア市場

## 北米市場

- リモートプロダクション及び4K UHD信号配信の需要増加により、コアネットワークの伝送帯域が10ギガから100ギガへ拡大することが必要と見込まれる。
- これにより、既存顧客及び新規顧客に対して、新製品である100ギガネットワーク対応製品及びリモートプロダクション対応製品を販売することで売上を見込む。
- 営業体制の強化を継続し、ケーブルテレビ局及び放送局といった新規顧客開拓を進めることで、売上の増加を見込む。

## 地域別販売計画：北米市場

## オーストラリア市場

- 引き続き既存顧客に対してメンテナンスサポートサービスを提供するとともに、既存ネットワークへの新規機能追加に対して当社製品を提案していく。
- また、将来のネットワークの設備更新に向けて、当社ソリューションを提案していく。

## EMEA市場

- ロシアワールドカップでの実績を元に開拓した新規顧客に対して、当社ソリューションを提案中。更なる売上増加を見込む。
- また、販売代理店及びシステムインテグレーターを通じて販売機会の拡大を目指し、売上につなげる。

# 地域別販売計画：オーストラリア・EMEA市場

ありがとうございました



株式会社メディアリンクス

<http://www.medialinks.co.jp>

Tel 044-589-3440

Fax 044-589-3441

E-mail [ir@medialinks.co.jp](mailto:ir@medialinks.co.jp)



## 本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化、研究開発の進捗、競合状況等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合もありますことをご承知おきください。
- 数値表記について  
本資料中の数値表記は、基本的には、決算短信と同様に、百万円未満の数値は四捨五入で表記をしております。